

# 平成25年度「みやぎ農業見聞のつどい・秋」アンケート 集計

## 1 今回この企画を何で知りましたか？（回答：22名）

- ①ダイレクトメール（郵便） (10名)
- ②当会社のホームページ (1名)
- ③全国新規就農相談センターホームページ (2名)
- ④ハローワークからの紹介 (－)
- ⑤宮城県農業大学校からの紹介 (9名)
- ⑥その他 (－)



## 2 視察内容は、いかがでしたか？

- ①内容全体：満足（16名） やや満足（6名） やや不満（－） 不満（－）

### 満足だった理由：

- ・それぞれ重視している点が異なり、いろいろな意見が聞けて良かった。
- ・実際の農業者の話を直に聞けて有意義だった。
- ・交流会で、就農の具体的な手続きなどの話が聞けて良かった。
- ・儲かる農業のためには、栽培技術と販売力が必要と強く思い知らされた。

### 不満が残った部分

- ・もっと、ほ場（永田氏）や加工場（伊豆沼農産）も見たかった。

- ②視察先数（3ヶ所）：多い（一名） ちょうど良い（22名） 少ない（一名）

### ③視察時間（1ヶ所あたり）

- |           |        |             |        |
|-----------|--------|-------------|--------|
| ・永田ユキオ氏   | 長い（－）  | ちょうど良い（14名） | 短い（8名） |
| ・（有）伊豆沼農産 | 長い（1名） | ちょうど良い（20名） | 短い（1名） |
| ・交流会      | 長い（1名） | ちょうど良い（20名） | 短い（1名） |
| ・久保寛達氏    | 長い（－）  | ちょうど良い（19名） | 短い（3名） |

内容で、感じたことがありましたら、記入下さい。

- ・ハングリー精神で行う大切さを知った。
- ・移動中もいろいろな話が聞けて良かった。
- ・（永田氏は）二人で、他品種（30品目）を栽培しているのに驚いた。
- ・新規参入の場合の農地確保、周囲農家との折り合い、資金繰りの大切さを知った。
- ・赤豚、おいしかったです。
- ・自分の信念で仕事をしていると感じた。やる気が出て来た。
- ・自分の目標を明確にするのが大切だと感じた。
- ・施設整備での初期投資の抑制対策を聞き、とても参考になった。
- ・時間があれば、もともと聞きたいことがいっぱいあった。
- ・今回は、台風の影響で露地畑をじっくり見ることができず、残念だった。
- ・土作りの話（その方法）を、じっくり聞きたかった。

## 3 あなたがイメージしていた農業と比較して感じたことがありましたら、記入して下さい。

- ・生活できるだけの年間収入を上げるのは、相当大変なことが解った。

- ・ 経営ノウハウのポイントを知ることができた。
- ・ どういう状態の作物を売りたいかも、考えないといけないと気づいた。
- ・ 農協出荷で完了。とは異なり、消費者をイメージして農業をしていると強く感じた。
- ・ 就農予定地の周囲の環境とあったスタイルを考えていきたい。
- ・ 永田さんのところでは、3人で広い面積を管理しているのに驚いた。
- ・ 久保さんの「自分の目で、肌で感じて」管理することの大事さを知った。
- ・ 基本と実践が大切で、そこから進歩があると感じた。
- ・ ビジネスとしての農業経営の視点を知ることができた。
- ・ 農業が特別な仕事ではない。事業であり会社であるということを、解っているつもりだったが、もっと、深く・細かく考える必要があると感じた。
- ・ 販売を主に考える点も、参考になった。売れないのでは、継続できない。

#### 4 今回のつどいに参加して参考になったことがありましたら、記入下さい。

- ・ 無農薬栽培について、どうやって虫や病気を防ぐかしか考えて無かったが、防除と同じくらいどう理解してもらい、価値をつけて売るという考え方が勉強になった。
- ・ 自分自身のゴール（目標）をしっかり決めることの大切さを知った。
- ・ 人とのつながりを大切にして営農している印象が強く残った。

#### 5 参加前と比べて、新規就農への意欲、関心に変化はありましたか？

- ①ますます意欲や関心が高まった。(14名)
- ②変わらない (7名)
- ③意欲や関心が低くなった。( - )
- ④無記入 (1名)

その理由は

- ・ 農業の厳しさとおもしろさを感じた。
- ・ 農業者の生の声に、とても刺激を受けた。
- ・ 土づくりを大切にしている永田さんの話が参考になり、意欲が沸いた。



#### ◎回答者の概要

性別：男（15名）・女（7名）

年齢：20歳代（4名）30歳代（4名）40歳代（5名）50歳代（4名）

60歳以上（5名）

以上。

#### 6 その他自由なご意見をお聞かせください。（開催全体や希望の視察先など、何でも・・・）

- ・ つどいの回数を、年4回くらいしてほしい。
- ・ 果樹農家が見たい。
- ・ 昼食時のフリーディスカッションができる時間を多くした方が、参加者一人一人が得るものが多くなるのではないかと思った。
- ・ 個人では、なかなか農家さんに行けないので、貴重な機会であった。これからも、継続してほしい。



《番外編》

- 植物の教材化やインテリア化しての販売を考えています。県内や近県で事業化している事例があれば、教えてほしい。奥山牧子・58歳（農業大学校講座受講生）
- 正直に言うと、私は新規就農希望ではない。周りに農家もいない。だから、私は消費者の立場だ。なぜ、農家でない人が新規参入するか、実はよくわからない。天候に左右されるし、法律は変わるし、手を抜いたら自分に返ってくる。ダメージが大きすぎる。  
今回視察に行き、農に対する捉え方は本当に人それぞれだと感じた。花だって野菜だって、「なぜ、こんなに悪いものを出すのか？」と思っていたが、それはコストや時期、消費者の希望によってそうなっている。ビジネスとして成り立つよう、それぞれの考えがあってそれでいいのだ。と思ったが、果たして100年後も日本で農作物がつかれるか、一抹の不安を覚えた。伊藤みなみ・25歳（農業大学校講座受講生）
- 三者とも共通なのが、農協に頼らない経営。そうしないといけない農協とは何なのか？  
男・62歳（農業大学校講座受講生）